



PTA新聞 おきなわ

発行
(一社)沖縄県PTA連合会
〒900-0002
那覇市曙2-26-27
TEL (098) 867-3582
FAX (098) 867-0309

責任者 伊禮 靖



表彰式にて受賞者代表あいさつを述べる、とよみ小学校PTA塩村副会長

令和3年1月17日に、第62回沖縄県PTA研究大会島尻大会が豊見城市立中央公民館大ホールにて開催されました。大会中止も危ぶまれましたが、開催へ向けて、大会の中止、全体会の分科会の参加者数の制限、入場時の検温・手指消毒の徹底等、新型コロナウィルスの感染拡大防止の為、従来の運営を変更しました。更に表彰方法の変更を加え、プログラムの時間短縮・参加者の接触機会低減を図ると事とし、事前の大会打合せ等で、当初の運営方法を大きく変更したうえで開催することを決定しました。当日の参加者は約230人、参加できない会員へはYouTube Liveにてオンライン配信いたしました。



大会を成功させる為、スタッフ一致団結

広報委員 外間隆史

また、記念講演では県出身で世界的マジシャンMASA MAGICさんが「夢を諦めない大切さ」についてマジックの実演も交えて講演し、会場を沸かせてくれました。そこで今回は、会員の皆様が課題解決を図りながら、時代の要請に応える望ましいPTAのあり方を究める大会運営を目指して、また、次期県P研究大会那覇地区大会に向けて行ったアンケート調査の内容を、一部ではあります。が掲載したいと思います。

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. 開会行事、全体会の運営についていかがですか。 | 大変良かった 84.6% |
| | おおむね良かった 15.4% |
- ・制限の増えていく中での準備、大変な苦労があったことでしょう。大会役員、関係者の皆様に感謝です。今後も新型コロナウィルスの感染拡大は続きますので、今回の運営方法が一つの基準になると思います。新しい基準として、PTA活動に活かしていきたいと思います。
 - ・大会の開催に尽力していただきありがとうございます。いました。大変な状況の中、開催を決断し、実行して頂いたことで勇気と元気をもらい、私たちも出来る事を工夫と知恵を出して頑張っていきました。お会いしたかつたマサさんを生で見れて



入場時の検温と手指消毒

・コロナ禍での開催、本当にありがとうございました。沖縄県PTA、各地区P、単Pで色々と中止で出来なかつた事もあると思いますが、これからも新型コロナに負けないで、頑張って活動したいと思います。お疲れ様でした。

・コロナ禍において、これまで以上に準備が大変だったと思います。新しい様式を取り入れた基準となる大会を強い意志で開催していただき感謝いたします。

・PTA活動は止めてはならないのですか、こういう時こそ市町村単位で収めるべきだつたと思います。県や地区単位で動くには大規模になります。不安でした。

良い機会を作つていただき感謝です。
・コロナ禍での開催、本当にありがとうございました。沖縄県PTA、各地区P、単Pで色々と中止で出来なかつた事もあると思いますが、これからも新型コロナに負けないで、頑張って活動したいと思います。お疲れ様でした。



MASA MAGICさんによる記念講演

2. 「記念講演」はいかがでしたか。

大変良かつた 100%

・夢の種まきプロジェクト！子ども達から「すごいよ！不思議だよ！」と聞いていましたので、マサさんの講演嬉しかったです。「信じる事」私にとっても素晴らしいメッセージになりました。これからも応援します。

・何事にも諦めない大切さ！多くの保護者や子ども達にも聞かせたい内容でした。大変

な状況下の中で、運営している方々に感謝です。

・マサマジックさんとても良

かったです。涙する場面もありました。この大会に参加できることを嬉しく思い、感謝しています。

・マサマジックさんとのお話をとても面白かったです。そして考え方される事がたくさんありました。子供に対する言葉や態度をより気をつけ、

夢をもつて生活して、豊かな

考えが出来るように、子育て、いつもの生活を楽しんでいき

ました。

・新型コロナウィルス感染予防をしながら、様々な工夫をされたと思います。大会運営

の皆様本当に疲れ様でした。

・コロナ禍の中、運営等大変だったと思います。本当に

大変良かつた 84.6%
おおむね良かつた 15%

・入り口の検温・手指消毒等「入館までの流れ」の掲示物がとても分かりやすかった。様々

な対策による開催に心から感謝致します。子どもの貧困をなくす活動をこれからも皆さんと進めていきたいです。

・講演中などは、席への案内はしない方が良いかと思いま

した。ていねいな感染対策ありがとうございました。

・表彰者の方が席を間違えたり、戸惑つたりしている姿がよく目にきました。会場の中での案内がもう少しスマーズだったら良かったと感じました。大変な中開催の運営準備本当にありがとうございました。

・新型コロナウィルス感染拡大防止のための、様々な対策ありがとうございました。

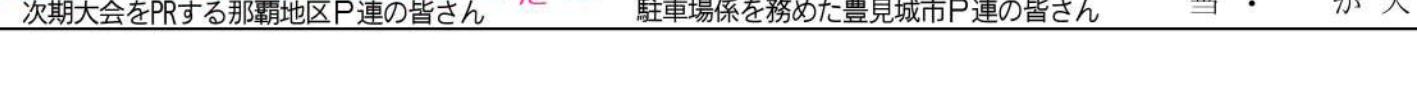
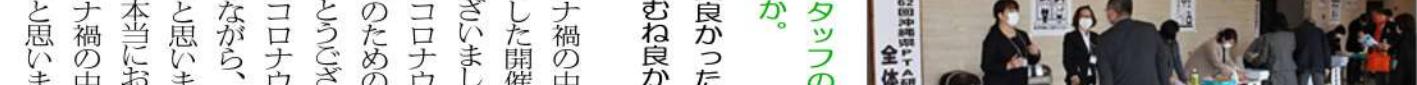
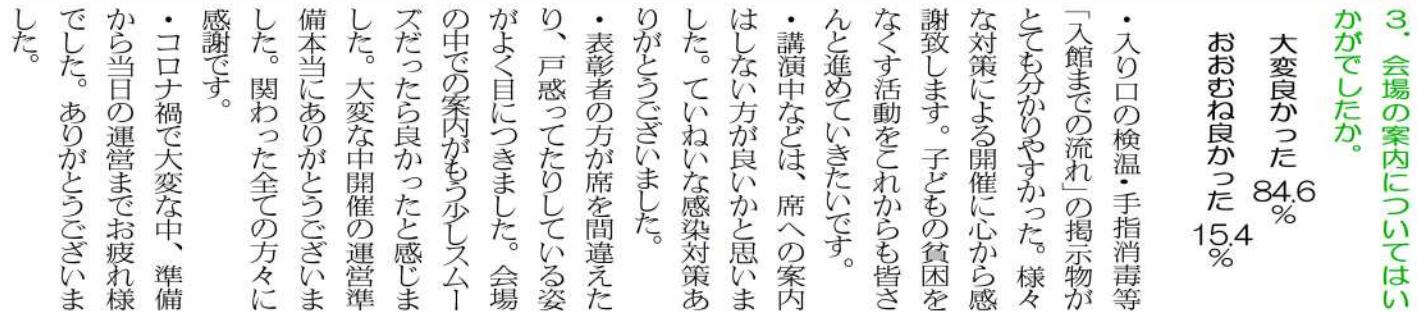
・新型コロナウィルス感染予防をしながら、様々な工夫をされたと思います。大会運営の皆様本当に疲れ様でした。

・次期大会をPRする那覇地区P連の皆さん

駐車場係を務めた豊見城市P連の皆さん



舞台に参加者を上げてマジックを披露



3. 会場の案内についてはいかがでしたか。

大変良かつた 84.6%
おおむね良かつた 15%

・コロナ禍の中、色々と計画・準備・設営・片付けまで本当にありがとうございました。

・疲れ様でした。とてもいい大

会だったと思います。ありがとうございました。

・コロナ禍での開催、本当にありがとうございました。沖縄県PTA、各地区P、単

で色々と中止で出来なかつた事もあると思いますが、こ

我が校区の文化・歴史遺産 紹介



各地区的文化・歴史遺産を紹介するコーナーです。

今回は、島尻地区PTA連合会にもご協力をいただき、島尻郡しかも離島の文化・歴史遺産を紹介していただきました。

コロナ禍でなかなか旅行へ行けない状況ですが、少しでもその地域へ行った気分になれたら幸いです♪

唐紙を薩摩に伝えた「新垣筑兵衛」

渡嘉敷村は那覇から西へ約35キロの場所に浮かぶ大小6つの島々からなります。南北におよそ10キロ、東西に3キロの一帯大きな島が渡嘉敷島です。自然豊かな島々は、お隣の座間味村と共に慶良間諸島国立公園に指定されています。

かつて琉球の時代のころは進貢船や冊封使を乗せた冊封船の航路になっていたのが慶良間諸島で、各島には烽火台の跡が残っています。最終的に渡嘉敷島から烽火を上げて首里に知らせていました。この進貢船に多くの渡嘉敷の住民が水夫として乗り込んでいました。

その中の一人が新垣仁也（二一ヤ）、後の「新垣筑兵衛」です。仁也は現在の中国福州に進貢船の船員として三度も渡りました。交易を重ねているうちに当時、国外不出の唐紙の製造方法を習得することになります。「唐紙」は、孟宗竹や若竹とカジの木の皮を煮てすいた紙で、色は黄色く質はもろく裂けやすいのですが、墨の吸収具合がよく大量に生産できるので書画用として多く利用されていました。

仁也は琉球王府で唐紙を製造して公用に供したい申し出ました。当時の琉球王府の紙の製造は、定められた地域や代々世襲している家が王府と連携しながら製造していたと思われます。唐紙を伝えようとした仁也は逆にねたまれてしま

まう事になりました。一七七年、身の危険を感じた仁也は、島津と

琉球を往来して、薩摩に逃れました。（写真 新垣筑兵衛「由来の「カジノキ群」）

後に藩主、島津重豪は、彼を藩に留め置き、一七七八年から唐紙製造に従事させました。

薩摩藩は一七八一年、琉球王府に命じて仁也に筑登之の位を与えさせましたが一七八六年、琉球の籍を抹消させ籍を薩摩に移し、島に残つた新垣の老母の生活費として毎年錢十貫文を下賜しています。また、名も筑兵衛と改めさせ、御名戸与力の位と俸禄や家を与えて彼を重要視しました。

いつの時代も、新しいことを始めようとする足を引っ張るうとする殘念な環境がありますね。子供達には多くの事に挑戦してもらい多くの事を学んでほしいと思います。私たち大人も新しい芽を摘まないように気を付け、寛容であります。

PTA会長 古波藏 善之介



神の島「久高島」

は、首里城正殿2階の大庫理（ウフグイ）、斎場御嶽の大庫理（ウフグーイ）と同名の大庫理（ウブグイ）がある。

久高幼小中学校PTA
賀数 哲也

久高幼小中学校PTA
賀数 哲也

神の島とも呼ばれる久高島は、年間を通して多くの祭祀が行われる。島全体が一種の聖域であり、大切に守られている建物や領域が多い。その中でも、島外からも数多くの関係者が集まる行事が行われる場所を紹介する。

大通りは多い。その中でも、島外からも数多くの関係者が集まる行事が行われる場所を紹介する。

・久高殿（御殿庭《ウドウンミヤー》）

12年ごとの午（ウマ）年に

行われてきたイザイホーなど、主要な祭祀が行われる祭場である。広場の一角には、中央に神アシャギギが建ち、神アシャギギに向かって右側には村落の始祖の一人とされる百名シラタルーを祀った神屋（シラタルー拝殿）がある。

・外間殿（ウブグイ）久高殿と並び、正月をはじめとする主要な年中行事における祭場となる場



外間殿（ウブグイ）



久高殿（御殿庭《ウドウンミヤー》）

裏方一番

各地区で、子どもたちをサポートしている方たちを紹介するコーナーです。
前ページ同様、島尻地区PTA連合会にもご協力をいただき、島尻郡しかも離島の裏方一番さんを紹介していただきました。



「読書は自分の将来への道しるべ」

「読み聞かせ10年を通して」

栗国小中学校では、平成21年から地域ボランティアによる「朝の読み聞かせ」を行っています。(写真)

今回は長年に渡り読み聞かせボランティアとして、児童生徒に向け読み書の素晴らしさを伝えてくださっている與那城健一さんをご紹介します。

與那城さんは平成9年～平成25年まで栗国村の教育委員として、学校教育に関わってきました。平成21年、当時の校長先生の「栗国小中でも読み聞かせを行いたい」という希望があり、地域ボランティアによる読み聞かせの立ち上げメンバーとして参加。以降10年にわたり、地域ボランティアとして児童生徒への読み聞かせを行っています。

読み聞かせをして良かった事や嬉しかった事をお聞きしたら、「読み聞かせをした事で自分も勉強になつた。(年齢に応じた事で自分が成長した)」と答えた。栗国小中学校PTAの選び方、読み聞かせの講演会へ参加



して刺激をもらつた、子供の頃に読んだ本を今読むと違う感じに気づく事ができた。」など、読み聞かせの活動を通して新たな発見があつたそうです。

読み聞かせを通して児童生徒に伝えたい事は、「本に興味を持つと自分の道が選びやすくなる。将来の事を決めるきっかけ・道しるべになる。」と話されています。

読み聞かせを通して、本に興味を持つきっかけになつてくれたら、笑顔で話されている様子を見て、私たちPTA会員一人一人も自分のできる事を見つけ、児童生徒が楽しく学校生活が送れるよう、協力して行けたらと再確認させられました。

栗国村立栗国小中学校PTA

今井一義

與那城健一さん



野菜作り名人の大村さん

慶留間小中学校「のびのび農園」では、大根、にんじん、じゃがいも、にんにく、赤玉ねぎ、さつまいも、島サンチュ、サラダ菜等を育てています。

そこで、地域の大村さんに植え付けの仕方や、間引き、肥料を与える時期などを教えてもらっています。

2月のPTA収穫祭では育てた野菜でカレー・パーティーをするのが楽しみです。子どもたちも、のびのび農園も支えてくださり、ありがとうございます。

(大村さんの指導の下、農園で育ったスイカを収穫し、給食時間においてくださいました。)



(写真「PTA親子畑作り」で指導してもらっている様子)

中学生は畑を耕し、肥料をまいたり畝を作ります。小学生は雑草を取つたり、ジャガイモを植えた



慶留間小中学校PTA
島袋盛章

りました。(大村さんは、時々こつそり農園を見に来て、苗に網をかけたり肥料を追加してくれたりしてくれます。)



皆さま方の地域でも、子どもたちをサポートしている裏方
さんたちはいませんか？

ぜひこの方を紹介してほしい等ありましたら、ご連絡いた
だければと思います。県PTA広報紙で紹介いたします♪

裏
一
方
番

あはりっ子応援団

阿波連小学校は、正門からで数秒でケラマブルーに輝くきれいな海に行くことができる学校です。また阿波連小学校がある地域は、年間十数万人の観光客が訪れ、1年を通して観光客で賑わう場所です。中には渡嘉敷島に魅了され移住する方もいます。

しかし、35年ほど前の渡嘉敷島は、移住者がほとんどいない場所でした。そんな時代に藤原史明さんは、渡嘉敷島に移住し、4人の子ども達を阿波連小学校に通わせ、当時のPTA会長も務めた方です。

移住者の多い阿波連小学校PTAにとっては先駆者的な存在です。また現在では、渡嘉敷村の教育委員も務められ精力的に渡嘉敷村のために働いてくれています。

本業の漁業を営む傍らで、阿波連小学校の運動会や親子キャンプ、ハナリ島遠泳（阿波

連ビーチから約1km沖にあるハナリ島までを子ども達が泳ぐ行事）などを、毎年のように助けてくれます。また、各行事の慰労会では藤原さんが用意してくれた美味しいマグロで子ども達や保護者、先生方を喜ばせてくれます。

こうした地域の支えの中で、あはりっ子達は島の子として成長していきます。まさに藤原さんは、あはりっ子応援団の団長的存在であり、保護者や先生達からも信頼される縁の下の力持続的な存在であります。」

その協会の中で、この体験ダイビングの世話を担っている知久博志さん（SEA STEP DIVERS）は、「子どもたちの中には、この美しい光景を見ることなく卒業し、島から立ちっていく子たちがいる。島を離れる前に座間味の海の美しさを体感し、地元に対して誇りと愛着を持って新しい世界へ羽ばたいてほしい」と、子どもたちへの愛情溢れる思いを語ってくれました。

今年度は10月27日、28日の両日に渡り、座間味ダイビング協会の知久さん、又吉さんを含む延べ15名の協力の下、本校の中学2・3年生に対する体験ダイビングが実施されました。最初は緊張していた子どもたちも徐々になれて、海中游泳を楽しみ、体験後の船上では笑顔で海の中の様子を語り合った姿が印象的でした。

後日の感想では、「座間味の海を誇りに思う」、「海がとてもきれいで、まだダイビングしたい」、「体験ダイビングをさせて頂いた皆さんに感謝です」などがあり、子どもたちにとってはまさしく地元座間味への誇りと愛着が高まる体験となつたようでした。

座間味ダイビング協会の皆さん、素敵なお取り組みありがとうございました。

座間味小中学校PTA 宮城 義隆



阿波連小学校PTA
会長 関根 史郎

今年度は10月27日、28日の両日に渡り、座間味ダイビング協会の知久さん、又吉さんを含

座間味の海の美しさを子どもたちへ



会員の皆様のご理解とご協力をお願いします！

令和3年度より「県PTA会費が、年130円から年175円に改定」されます。

“今の年会費のままで今後の運営に支障をきたす”との理由で、令和2年6月6日の定時社員総会において「会費の引き上げ」をご承認いただきました。

その後、事業検討委員会や理事会等で、予算・決算の精査や人件費削減、開催事業の見直し、収益事業への着手など、引き上げ額については何度も協議を重ね、11月28日の臨時社員総会において、「値上げ額45円と新会費の徴収は令和3年度からスタートする。」ことを承認していただきました。

今回の会費改定は、平成16年度以来となります。会員の皆様には負担増となることを大変申し訳なく思っております。本会事業の多くが、納入していただいている会費により運営されている現状においては、会費の引き上げが避けられない状況にあることをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、会費改定についての会長メッセージと、値上げの根拠となる資料(ポンチ絵)を県PTAのホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

2020年度 常置委員会 活動報告

母親委員会
委員長 安座間 智美

今年度は、前年度にて一
マを掲げた「食育について」
を勉強会を行う予定
でしたが、予期せぬ新型
コロナ禍になってしまい、
母親委員会として第一回
目に何を行なべきか？を
再検討しました。

結果、新型コロナにつ
いて学ぼうという意見が
多数あり、名護療育セン
ター小児科医診療課課長
仲本千佳子先生を迎え、
「新型コロナウィルス感
染症予防と現状について
子ども達の生活をどう
守っていくか」と題し、
講師として、また保護者
としての観点からも含め、
講演していただきまし
た。日常生活の中での感
染リスクを考え、どう向
き合って生活をしていく
か、参加者の皆さんのが最
も興味のある内容で好評



母親委員会の皆さん

でした。

第二回目には、沖縄県
津典子氏を講師としてお

子ども未来政策課課長島
迎えし、「沖縄県の子ど
もの貧困解消に向けて
沖縄県の現状と課題」

について研修会を行いま
した。現在の沖縄県の子
どもの貧困について、多
くのデータを基に理解を

深め、更に沖縄県における
課題を詳しく説明して
いたと協議もできました。

今年度最後の委員会では
、「母親目線の人権に
ついて」のテーマで研修
会等を、次年度には行い
たいと協議もできました。

①では、小中学生へ
の読み聞かせの効果と
して、「学習意欲の向
上」「ストレスの軽減」
上「心の豊かさ・共感」が、

理事の皆様を対象に研
修会を開催しました。

②では、小中学校での読み聞か
せの手法②読み聞かせ
で促すPTA活動への
参画をテーマに、県PTA
理事の皆様を対象に研
修会を開催しました。

③では、小中学生へ
の読み聞かせボランティ
アをする時に、子供の
心をつかむ三つのポイ
ントとして、「教室に
笑顔で入り、明るく元

調査研究委員会
委員長 玉城 博紀

ででした。

調査研究委員会では

今年度、研修事業の企
画・運営を行う事にし
ました。

絵本未来創造機構理
事長の仲宗根敦子先生
を講師にお招きし、①

小中学校での読み聞か
せの手法②読み聞かせ
で促すPTA活動への
参画をテーマに、県PTA
理事の皆様を対象に研
修会を開催しました。

①では、小中学生へ
の読み聞かせの効果と
して、「学習意欲の向
上」「ストレスの軽減」
上「心の豊かさ・共感」が、

逆に、そこをクリアで
ければPTA活動に参
加してもらえ、活発化
ができると思いました。

逆に、そこをクリアで
ければPTA活動に参
加してもらえ、活発化
ができると思いました。

今回の研修の内容を
理事の皆さまにフィード
バックして、今後のPTA
活動へのヒントになれば
と思い、研修後のアンケートを実
施してその結果を取りまとめてい

関係)が大事」「赤ちゃ
ん絵本は子供の心をつかむ」などが挙げられていきました。

②では、なぜ読み聞
かせボランティアが活
性化するのか、それは
「子供や学校との直接
的なつながりを体感出
来るから」だそうです。
一方でPTA活動への
懸念として、責任が重
大に感じる。時間を多く
拘束される。役割や
活動内容が不明瞭など
が挙げられていました。

家庭教育委員会

委員長 萩堂 盛嗣

家庭教育委員会では、11月13日に県P理事の皆様を対象に、県P会館3階ホールにて、「Most Likely To Succeed」の上映会、意見交換会を行いました。

この映画は、AIやロボットが生活に浸透していく

21世紀において、子どもたちに必要な教育は何か？

どういったテーマで、あるアメリカの高校に通う生徒の成長を追いかけるドキュメンタリー映画です。

10～20年後、現在の仕事の半分がAIやロボットなどで自動化されると予測される中で、子どもたちが大人になる時代にはどんな世界が待っているのか？そして、そのよ

うな時代にはどんな能力が求められるのか？など

どのようなことを考えさせられた映画でした。

上映後の意見交換会では、現役校長先生からの

現状の学校教育の様子や、保護者の立場から家庭で必要な教育は何かなどの意見等が活発に交わされました。

健全育成委員会

委員長 喜納 政樹

今年度の健全育成委員会の活動を振り返ってみますと、次年度に向けて

沖縄県PTA連合会が行っている健全育成事業との関連性を持たせられないかとも検討しましたが、中々答えが出せませんでした。

何も出来ずに終わった一年となりましたが、県P伊良部副会長をはじめ、県P役員の皆様、事務局の皆様にはお世話になりました。感謝を申し上げます。

通常であれば、それらを例年の中止を前提で進める事な

く、実施を前提とした委員会運営をする事に努めました。私個人としては、最後の小

中PTA活動としての集大成として、実現に向けスローガンや大会宣言をはじめとする大会の方向性や、大会宣言等を取り決めるとい

う課題を議題として毎月実施いたしました。

取り決めるながら進めていく

の、何かしらの事業計画を立てる事もできず、試行錯誤しながら本来の健全育成委員会としての役割とは何なのかと言う事を考えさせられる一年となりました。

今年度の健全育成委員会の活動を振り返ってみますと、次年度に向けて

何も出来ずに終わった一年となりましたが、県P伊良部副会長をはじめ、県P役員の皆様、事務局の皆様にはお世話になりました。感謝を申し上げます。

通常であれば、それらを例年の中止を前提で進める事な

く、実施を前提とした委員会運営をする事に努めました。私個人としては、最後の小

中PTA活動としての集大成として、実現に向けスローガンや大会宣言をはじめとする大会の方向性や、大会宣言等を取り決めるとい

う課題を議題として毎月実施いたしました。

取り決めるながら進めていく

の、何かしらの事業計画を立てる事もできず、試行錯誤しながら本来の健全育成委員会としての役割とは何なのかと言つて

会での活発な議論を期待しております。



総務企画委員会

委員長 中沼 豊

本年度は、島尻地区での研究大会実施という事で委員長を任命されました。

研究大会実施として各地区P会

長を核心として各地区P会

員会から理事会で承認され

た事項について柔軟に対応

たと勘案します。お力添え頂

いた全ての方々に心から感

謝申し上げます。とはいってもコロナ禍という現状は依然として改善されていません。

今後は今年度の実績を生かし、次年度の那覇地区大会に向けて、現状を踏まえながら徐々に本来の形に戻していただけたら幸いです。

最後に、「一陽来復(福)

繫がれ広がれ 大きな輪(沖

縄)」悪い事の後は必ず良い事があります。子ども達のよ

り良い未来の為、大きな輪となって各地域繋がっていきましょう。

うな時代にはどんな能力が求められるのか？など

うな時代にはどんな能力が求められるのか？など

うな時代にはどんな能力が求められるのか？など

うな時代にはどんな能力が求められるのか？など

うな時代にはどんな能力が求められるのか？など

思います。

最終的に県P大会に参加された方々の見解と感想は、各種制約の中での開催に対応してある程度の評価を頂き、実施して良かったと振り返ります。またこの現状の中、実施する際にどのようにした

うな時代にはどんな能力が求められるのか？など



左から中沼委員長、県P伊禮会長

りぎりまで決断を伸ばす事と中止を前提で進める事な

く、実施を前提とした委員会運営をする事に努めました。私個人としては、最後の小

中PTA活動としての集大成として、実現に向けスローガンや大会宣言をはじめとする大会の方向性や、大会宣言等を取り決めるとい

木もれ陽

今年度退職を迎える、校長先生お二方に原稿をお寄せいただきました

私はとつてPTA活動は人間力を高める機会として、これまでの教員生で多くのことを学ばせていただきました。それは、PTA活動をする保護者の意識の高さや行動力からその人間性に触れ、刺激を受けたからです。「教員は世間知らず」、「教員の常識は世間の非常識」など揶揄されることもありましたが、20代、30代の若い頃、PTA活動を通して多くの学びがありました。特にPTA役員をされている方々は、企業で役職のある方、自営業で地域のために頑張っている方など多種多様な職業の方達がいて、その方たちとコミュニケーション(飲みニケーション)をとることは社会勉強となり大変有意義でした。

中堅教諭となり、教務主任を任されるようになると一層、PTAとの関わりも強くなりました。以前、PTA事務が学校にいない時代は、教頭又は教務主任が連絡調整を行

い、PTA全体を動かしていました。当然、PTA役員との厚い連帯感が生まれ、学校の課題や家庭教育について熱心に議論し、取り組んだ記憶があります。特に学力向上対策の家庭部会では、登下校時のパトロール、基本的生活習慣に関するアンケートの実施と考察、また学校創立の周年行事の取組やPTA祭り等、共に苦労した事が懐かしく、その頃の記憶が思い出されます。子供たちのために「今、やらねばいいや」「自分達がやらねば誰がやる」など、今から17、8年前までは、役員会等の会合が終われば学校で懇親会をしてから街に繰り出し、様々な熱い思いを聞かされたものでした。



糸満市立糸満小学校
校長 屋良 朝俊

関わり、繋がりから学ぶ

各学校・地区の活発なPTA活動にエールを

行い、PTA全体を動かしていました。

当然、PTA役員との厚い連帯感が生まれ、学

校の課題や家庭教育について熱心に議論し、取り組んだ記憶があります。

特に学力向上対策の家庭部会では、登下校時のパ

トロール、基本的生活習

慣に関するアンケートの実施と考察、また学校創立の周年行事の取組やPTA祭り等、共に苦労した事が懐かしく、その頃の記憶が思い出されます。

子供たちのために「今、やらねばいいや」「自分

達がやらねば誰がやる」など、今から17、8年前ま

では、役員会等の会合が終われば学校で懇親会をしてから街に繰り出し、様々な熱い思いを聞かさ

様子を見ていると、校長として嬉しい気持ちになります。

しかし、今年度(2020年)は、コロナ禍でPTA活動が大きく制限され

ました。会合も少人数だつたり、無くなったりしま

た。職場もそうですが、PTAの懇親会がゼロとな

りました。会合も少人数だつたり、無くなったりしま

県PTA連合会広報紙「PTA新聞おきなわ」についても毎号興味深く読ませていただけています。

掲載記事では、各単P及び地区P等の熱心な活動や研究大会等の参

加レポートなど、自分が携わっていない部分

が、人との繋がりやコミュニケーションの大

切さです。コロナ禍が収まり、また自由に交流が

できるようになつたら、親と教師が子供たちの将

が、人と人との繋がりや

コミュニケーションの大

切さです。コロナ禍が収

まり、また自由に交流が

できるようになつたら、親と教師が子供たちの将

が、人と人との繋がりや

コミュニケーションの大

切さです。コロナ禍が収

まり、また自由に交流が

できるようになつたら、親と教師が子供たちの将

が、人と人との繋がりや

コミュニケーションの大

切さです。コロナ禍が収

中心に、各会員の皆さ

んの活気あふれるPTA活動に楽しく相交わ

らせてもらった気がし

ます。振り返ってみると、教職経験を通じて

自分自身がPTA活動

に直接関与した経験と

いました。職場もそうですが、PTAの懇親会がゼロとな

りました。職場もそうですが、PTAの懇親会がゼロとな

親の世代が時間と身体と労力と知恵を、でき

る範囲で少しずつ分け

てくださるだけで、教

室では教えられないこ

とを、子どもたちに伝

えることができると思

じています。

そして、その意識と

いえ、教師側として

が主で、時おり学校休

業日のタイミングが合

うれば親としての立場で

PTA作業等に参加し

た程度です。

ですから、各単P・

地区P等の活動に意欲

的に参画している皆さ

んの姿勢や、バイタリ

ティーにはいつも頭が

下がる思いです。

周年行事を控えたあ

る学校では、「できる人

が、できる時に、でき

ることから」を合

言葉に、PTA組

織を中心として活

動

をモットーに、

「誰でも楽しく参

加できるPTA活

動」をモットーに、



南城市立玉城中学校
校長 上原 久由

安全会の加入について 【安全委員会からのご案内】

2021年度の「安全会共済加入の手続き」が、未だの団体の皆さま、

掛金：150円（内訳：共済掛金 142円 賠償保険 8円）



1. 一個人での加入ではなく、単位PTAとしての加入・納入となります。
2. 共済契約は、必ず 2021.3.31までに提出、確定世帯数・確定職員数・会費納入報告書と加入者名簿を4~7月末までに提出するとともに、掛金の振込を行ってください。
3. 一括して、会長名で安全委員会事務局の口座に納入します。

※今年度は、コロナ禍の影響の為、4~6月末までを4~7月末までとします。

共済の対象となる期間

当年4月1日～翌年3月31日

※途中加入の場合は、加入日の翌日から当該年度末までとする。

(一社) 沖縄県PTA連合会

安全委員会

〒 900-0002
那覇市曙2-26-27
TEL (098) 867-8645
FAX (098) 867-0309

第8回 理事会報告【令和3年2月26日開催】

協議事項

- ① 沖縄県小中学校童話・お話・意見発表大会について
- ② 沖縄県PTA研究大会について
- ③ 日本PTA九州ブロック研究大会
おきなわ大会について
- ④ 令和2年度収支予算執行状況について
- ⑤ その他

報告事項

- ① 九Pおきなわ大会シンボルマーク選考について
- ② 事業検討委員会報告
- ③ 常置委員会より
- ④ 九P幹部研修会報告
- ⑤ 第6回・第7回理事会議事録
- ⑥ その他

編集後記

今年度は「PTA新聞おきなわ」を3回発行できました。広報委員会の活動については、前号でも委員会紹介をさせていただきましたので、割愛いたしました。ご了承ください。

振り返ってみると、学校の臨時休校に始まり、学校再開後も新型コロナウィルスの感染拡大防止の為にPTA活動の自粛等、思うようにいかなかった1年だったのではないでしょうか…。

そんな状況でも、何度も協議を重ね、県PTA研究大会(島尻大会)を開催できたことは、とても意義のあることだと思います。分科会は中止となりましたが、今号では、「島尻郡の離島の魅力を伝えたい」と、島尻地区P連とタイアップした特集を組んでみました！

コロナ禍を逆手に、色々な特集や記事を紙面に掲載でき、広報の楽しさを改めて感じられた1年♪原稿作成や写真の提供など、★県PTA広報紙への★皆様のご協力に★感謝のキモチでいっぱいです。

新年度は、広報を通じて、新しい仲間との出会い(Meets)を期待し、より熱盛(チューバー)な話題を発信したい！「チューバーミーツ」を、たくさんお届けできたらなと思います。 広報委員 外間隆史

広報委員：知念 一美(那覇) 外間 隆史(島尻) 與那嶺 泰弘(中頭)
通信委員：仲村 三七子(国頭) 砂川 葉子(宮古) 高良 音絵(八重山)